

audio-technica

議場導入事例

ATCS-60 Series Installation Case

SAPPORO CITY SAKURA CITY SEKI CITY
SUITA CITY TOTTORI PREFECTURE
URESHINO CITY NANJO CITY



議場導入事例

ATCS-60 Series Installation Case

赤外線会議システムのパイオニアが提供する、
信頼性とクオリティ。

オーディオテクニカの赤外線会議システムは、日本全国の議会で選択されています。

混信・情報漏えいの少ない赤外線方式を実現したオーディオテクニカ独自の会議システムは、
マイクロホンだけでなく、オートマチック機能からカメラコントロールといった拡張システムまで、
多彩な議会運営のソリューションをご提案。

きめ細やかなサービスで、ご導入頂いた後も、議会の運営を徹底的にサポートいたします。



鳥取県 鳥取県議会 p.19



佐賀県 嬉野市議会 p.23



沖縄県 南城市議会 p.27



北海道 札幌市議会 p.3



千葉県 佐倉市議会 p.7



岐阜県 関市議会 p.11



大阪府 吹田市議会 p.15



札幌市議会

SAPPORO CITY COUNCIL

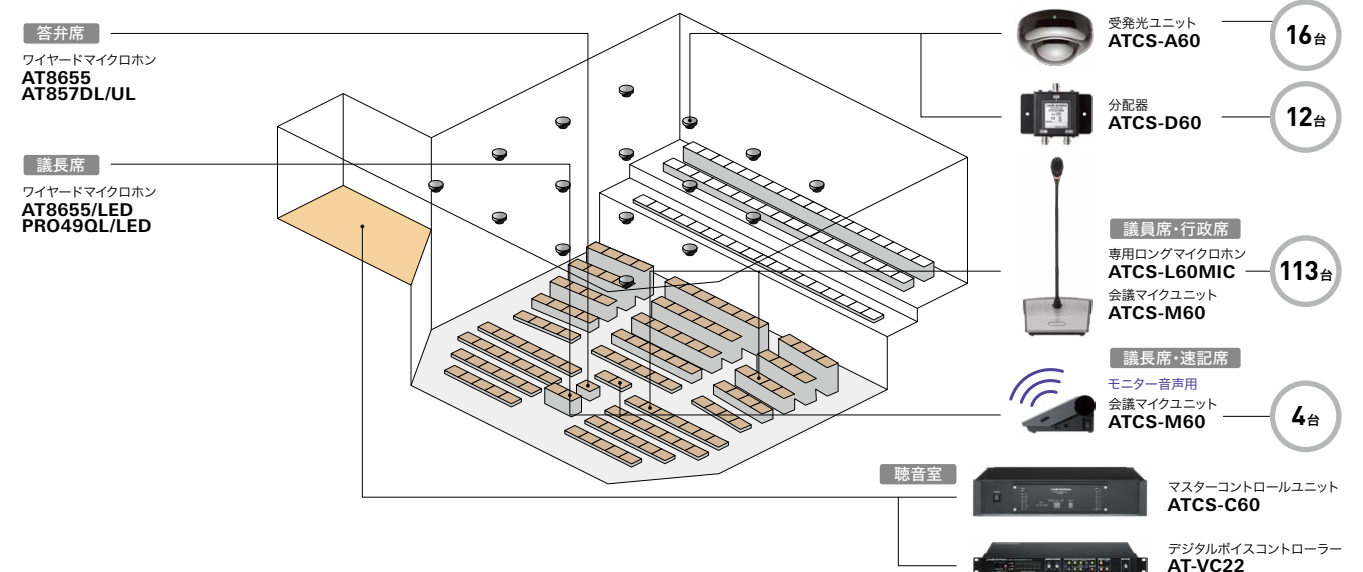
北海道

113台のマイクロホンによる赤外線会議システムを採用。
ATCS-60シリーズとシステムコントロール“AMX”を組み合わせ、
バックアップ体制の強化と、きめ細やかな音響調整を実現。



本会議場

- 赤外線マイクロホン113台、モニター用に会議マイクユニットを4台とワイヤードマイクロホン4台で構成しています。
- 立席発言となるため専用ロングマイクロホンATCS-L60MICを使用。スマートなデザインで圧迫感を感じさせません。
- 6mの天井高でも安定した運用が可能です。受発光ユニットの赤外線受信範囲を的確にコントロールし、全ての座席が受信範囲となっています。(傍聴席と記者席は受信範囲とならないように配慮してあります)
- 113台の赤外線マイクロホンを自動で点検するシステムを導入。常に安定した議会運用が可能です。





議員席マイクロホン



議長席マイクロホン(上) 答弁席マイクロホン(下)

SYSTEM CONTROL AMXによる会議システム制御



札幌市議会 聴音室

アビックラボ社の提供するシステムコントロール“AMX”は、メモリ媒体としてコンパクトフラッシュを使用しているため、常に電源をONの状態にして、素早く起動することができます。また、アナログスイッチとタッチパネルを併用することでバックアップ体制を強化しながら、お客様がすぐに使いこなすことができる操作性の高さもポイントです。

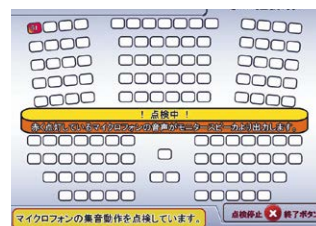
アナログスイッチ制御



ボタン操作で素早く発言権を選択します。(タッチパネルと併用で、どちらかが故障しても議事進行に影響をあたえません。)

フェーダーによってグループごとの音量を調整可能。次の発言者の切り換え時には自動的に基準の音量値に戻ります。(設定の保存は出来ません。)

AMXタッチパネル制御



タッチ操作で発言権を選択します。

マイクごとに音量調整・設定の保存が可能。聞きとりやすい環境を創出。一括でマイクの故障チェックを行えます。

災害発生など緊急時には自動で消音し、周囲の情報を聞きとりやすくします。

VOICE 利用者の声



田口繁治氏

札幌市議会事務局 議事課 議事係長

オーディオテクニカ・インタビュアー(以下AT):
今回弊社の赤外線会議システムとアビックラボ様の制御システムを導入して頂いて、実際に使用された印象などを聞かせてください。

マイクロホンの自動点検で省力、時短

田口繁治氏(以下田口氏):

今まで使っていたシステムでは議場内のハウリングが結構気になっていたのですが、今回はその点が大きく改善されたと感じています。また、これまでは議会の開場前に2人がかりで全てのマイクロホンをチェックしていたのですが、今はシステムを立ち上げればあとは自動的に点検作業をするシステムなので、省力化にも時間短縮にもなっています。

AT:

弊社の赤外線システム・マイクロホンを使用してみて、音質などはいかがでしたか?

配線工事不要で工期も短縮

田口氏:

赤外線マイクロホンになったからといって、以前に比べて何か違和感があるかという点、そんなことはなくストレスを感じることはありません。また、仮に有線マイクロホンになると床下の配線工事が超大になりますので、経費的にも工期的にも圧縮、短縮されたと考えています。我々としては、赤外線をご提示頂いてそれを採用して正解だったと思います。

AT: 赤外線システム・マイクロホンの外観、見た目はどのような印象をお持ちでしょうか。

すっきりデザインで机上也広々

田口氏:

非常にすっきりしていますし、落ち着いたデザインなので机にもマッチングしていると思います。また、大きさもコンパクトで端の方に置くことができるので机の上も使いやすくなりました。

AT:

弊社赤外線会議システムを選んでいただいた理由を教えてください。

田口氏:

マイクロホンを選ぶときに何か検討したのですが、結局、議場で使う台数やスペック、制御内容をクリアできたのがオーディオテクニカだったので選びました。実際に導入してみても使い勝手も良いですし、本当に満足しています。

AT:

ご満足頂いているようで安心しました。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



札幌市役所庁舎
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目

北海道札幌市

日本最北の政令指定都市・札幌は、全国の市で4番目の人口を有する、北海道の政治経済の中心です。アイヌ語に由来するその名前は観光都市としても世界的に知られています。札幌市議会のある本庁舎は、札幌オリンピック前年の昭和46年(1971年)に建てられたもので、地下2階、地上19階建、屋上には札幌の街を見渡せる展望回廊があります。





佐倉市議会

SAKURA CITY COUNCIL

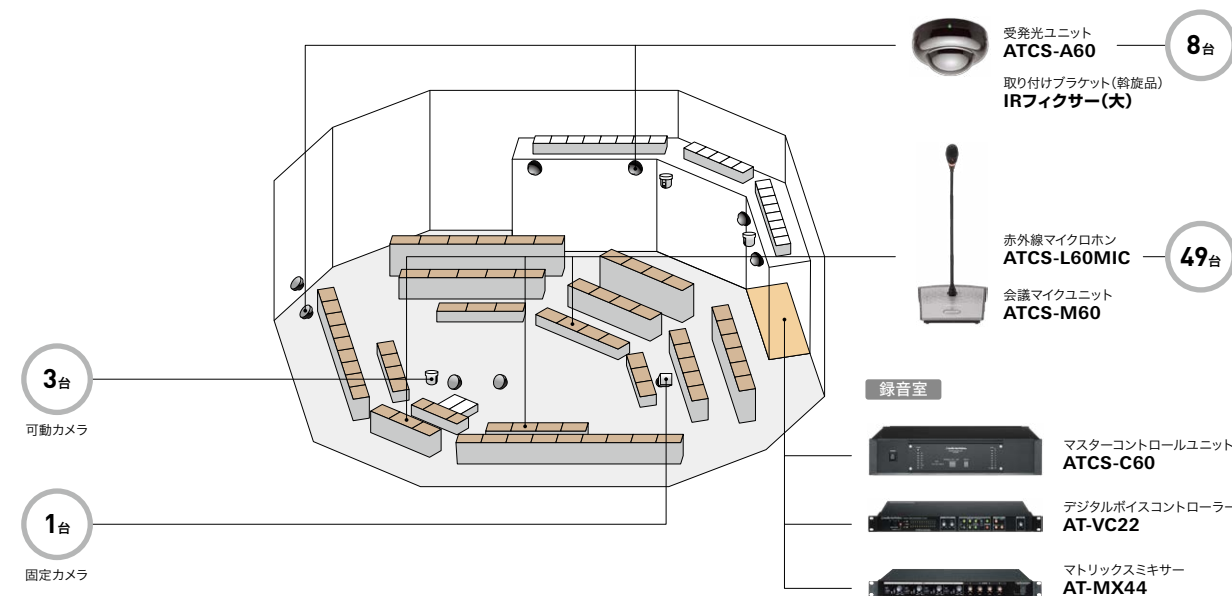
千葉県

カメラコントロールシステムと、
会議マネージャー専用ソフト“ATCS-C60MAG”を導入。
カメラ連動からマイク制御機能まで、
スムーズな議会運営。



本会議場

- 49台の赤外線会議システムマイクロホンを採用。
- 立席での発言となるため、専用ロングマイクロホンATCS-L60MICを選択。
- カメラ連動システムを導入。発言者を専用ソフトATCS-C60MAGで選択するとカメラが連動し、自動で発言者の画像に切り換わります。
- 会議マネージャー専用ソフトも導入。さらなる議会運営の効率化を促進しています。





議員席



議長席、答弁席(上) 録音室(下)

VOICE 利用者の声



椎名智義氏

佐倉市議会事務局 議事調査班

オーディオテクニカ・インタビュアー(以下AT):
今回弊社赤外線会議システムをご導入頂き、実際に使用された印象をお聞かせください。

立席もロングマイクロホンで 明瞭收音

椎名智義氏(以下椎名氏):
従来は身長の高い話者の声が聞き取りにくかったのですが、今回は口元近くに置ける長尺のコンデンサーマイクロホンになったことで、より明瞭で聞き取りやすい收音が可能となりました。また、議事録作成の際にも聞き直しの手間が省けました。

AT:
弊社の赤外線会議システムを使用したことでメリットはありましたか?

音響・カメラをPC一台で

椎名氏:
従来のシステムでは音響・カメラ操作に2名の人員が必要でしたが、本システムはPC上で音響とカメラが連動しているため一括操作ができるようになり、人員削減にも繋がっています。また、マイクロホンのみ移動させれば各部屋で運用出来るというシステムは、コストの削減にも大きく貢献しています。今回は議場のみの導入でしたが、ゆくゆくは委員会室へも導入を検討したいと思います。

AT:
ありがとうございます。



佐倉市庁舎
〒285-8501 千葉県佐倉市海隣寺町97

CAMERA CONTROL カメラコントロールシステム

RS232CやRS485などの制御規格カメラのコントロールが可能です。マイクユニットのレイアウトを登録し、合わせてカメラをプリセットすれば、マイクロホンのON/OFFに連動し、自動的に発言者を映します。カメラは、同時に複数台(各メーカーの規格による)使用でき、大きな会場にも無理なく対応できます。ビデオ会議や、議会中継など、大幅な省力化を実現する画期的な機能です。もちろんカメラ連動に合わせて、映像スイッチャーも連動させ適切に映像を切り換えます。

*対応カメラおよびシステム詳細に関しましてはお問い合わせ下さい。



可動カメラ(右) 受発光ユニット(左)
適切な受発光ができるよう角度調節が可能



ATCS-C60MAG
カメラの手動調整画面

ATCS-C60MAG 会議マネージャー専用ソフト

マイク制御機能 (ON/OFFコントロール)

レイアウトされた発言席をクリックすることで、マイクユニットのON/OFF操作が行えます。また、議長優先モードでは、参加者からの発言要求を表示し、その中から発言を許可することができます。(ATCS-60 Series オートマチック運用時はご利用になれません)

名簿登録機能

部署やカテゴリ単位でメンバーの登録を行うことが可能となっています。レイアウト作成の際、どの席に誰が座るかを、ドラッグ&ドロップで配置することができます。

運用レイアウトの登録保存機能

多目的スペースを使つての会議運営でも、その参加メンバーや人数によっておむね運用パターンは決まってきます。会議マネージャーソフトでは、運用パターンを登録することができるため、2回目以降の会議では、ゼロから作成する必要はありません。また、登録したレイアウトをベースに、人数の追加や変更などの修正も簡単に行うことができます。





関市議会

SEKI CITY COUNCIL

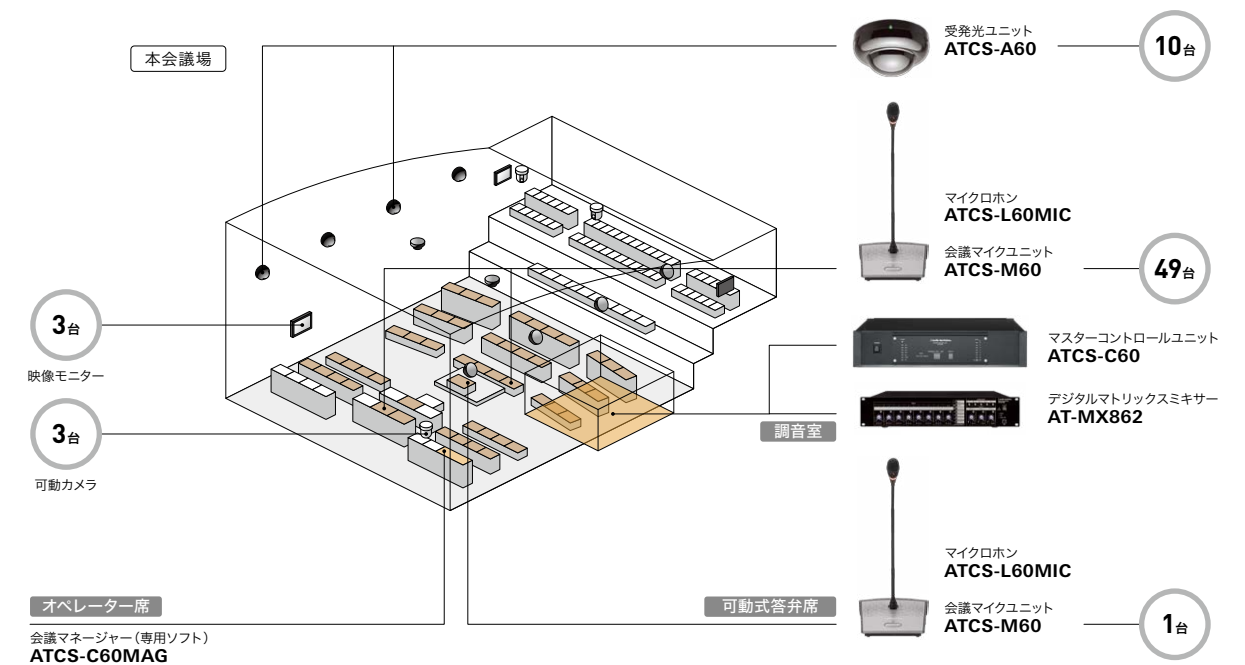
岐阜県

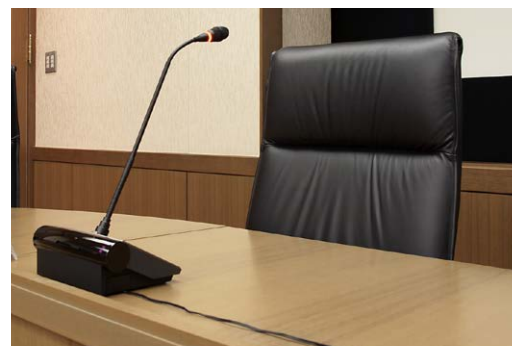
HDカメラと連動した会議システムを導入。
テロップ表示も活用した高画質映像を、
庁舎ロビーのモニターで一般公開。



本会議場・委員会室・全員協議会室

- ATCS-60シリーズマイクロホン104台や、赤外線ハンドヘルドマイクロホンを組み合わせて導入しています。
- 本会議場では立席での発言となるため、専用ロングマイクロホンを選択。
- カメラ連動システムを導入。発言者を専用ソフトATCS-C60MAGで選択するとカメラが連動し、自動で発言者の画像に切り換わります。
- 出席議員数・残時間表示にブザー鳴動を連動しています。





全員協議会室 ATCS-60MIC 32台、ATIR-T88 1台をATCS-C60で制御

VOICE 利用者の声



加藤直之氏

関市議会事務局

オーディオテクニカ・インタビュアー(以下AT):
今回弊社の赤外線会議システムを導入したきっかけを教えてください。

混線しないクリアな音声を

加藤直之氏(以下加藤氏):
庁舎を建てた時点で導入した音響システムが約15年近く経ってしまい、老朽化が進んでいたためです。議会の進行を妨げないように、委員会室・議場・協議室と全て同時に更新をしないとけなくなったのと、以前、電波を使ったときに混線したことがあったので、今回は赤外線にしようと決めました。

AT: 弊社会議システムの決め手は何でしたか?

音声検出エンジンが マイクロホンを自動でON

加藤氏:
決め手はオートマチック機能と予算感です。他社さんとも比較検討したのですが、他のメーカーさんの製品では、オートマチック機能はなかったので、これが一番の決め手でした。

AT: 実際に導入して感じているメリットはどのような点ですか?

オペレーター席ひとつで カメラもマイクロホンも

加藤氏:
人員の削減は大きいですね。カメラとマイクロホンの連動によって、今までは3人で行っていた業務が2人で済むようになりました。操作性もよくなり、音質としてもかなりクリアになったと思います。

AT: 庁舎の1Fでも、議会の様子を映像配信されていますよね?

加藤氏:
傍聴としてまで入らなくても、或いは混んでい

て入れない時でも、気軽に議会を見られるようになったのではないかと思います。

AT: 今後の展開をお聞かせ下さい。

使用場所が広がる マイク・シェアリング

加藤氏:
マイクロホンを配置していない場所もまだあるので、そういったところにも新しく買わずにシェアリングしながら長く使っていけるのではないかと考えています。



岐阜県関市役所
〒501-3894 岐阜県関市若草通3丁目1番地

EXTENDED SYSTEM システム拡張

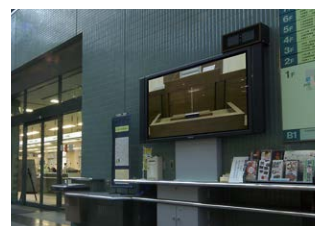
高画質カメラ連動システム



HD可動式カメラ



調整室



庁舎ロビーの映像モニター

パナソニック社製HDカメラ3台を、オペレーター席の会議マネージャーで一括してコントロール。映像は庁舎1階ロビーに設置した映像モニターにも配信し、会議の一般公開を実現しています。

テロップシステム

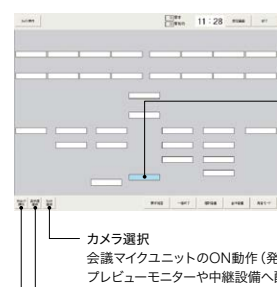
議長が発言時に、画面下部に「〇〇議長」、画面左上に「第一回定例会」と表示する場合の例をご紹介します。



テロップ表示モニターイメージ
文字サイズやフォントの種類変更が可能です。イメージでは明瞭度を上げるため、ゴシック体、青色でエッジ(緑取り)をつけています。

会議システム運用画面

議長、議員、行政などレイアウトに合わせてアイコンを配置します。会議マイクユニットにカメラのプリセットポイントを割り当てることで会議マイクユニットのON動作(発言)に同期してカメラを連動、プレビューモニターや映像記録、中継設備へ配信します。



発言中アイコン表示
発言中のマイクは青色表示されます。

カメラ選択
会議マイクユニットのON動作(発言)に同期してカメラを連動、プレビューモニターや中継設備へ配信します。

表示席選択
行政、議員など不特定の方が演壇で発言する場合に使用します。

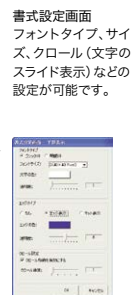
テロップ操作
設定ウィンドウを呼び出します。

テロップ操作画面

会議名称や議員名称の表示内容を設定して表示ON/OFFを行います。



定型文選択画面
登録された定型文を表示します。上部表示、中央表示(出席者名)、下部表示の設定も可能です。



書式設定画面
フォントタイプ、サイズ、クロール(文字のスライド表示)などの設定が可能です。



岐阜県関市

県中央部に位置し、名前は市内にあった濃州関所に由来するといわれます。美濃市を挟むV字型の市域になったのは、2005年(平成17年)の合併時。長良川で行われる伝統漁法「鵜飼」は千年以上の歴史があります。地場産業である刃物にも長い歴史があり、世界に知られています。清流長良川が代表する豊かな自然と、歴史と伝統を兼ね備えた、魅力溢れるまちです。



吹田市議会

SUITA CITY COUNCIL

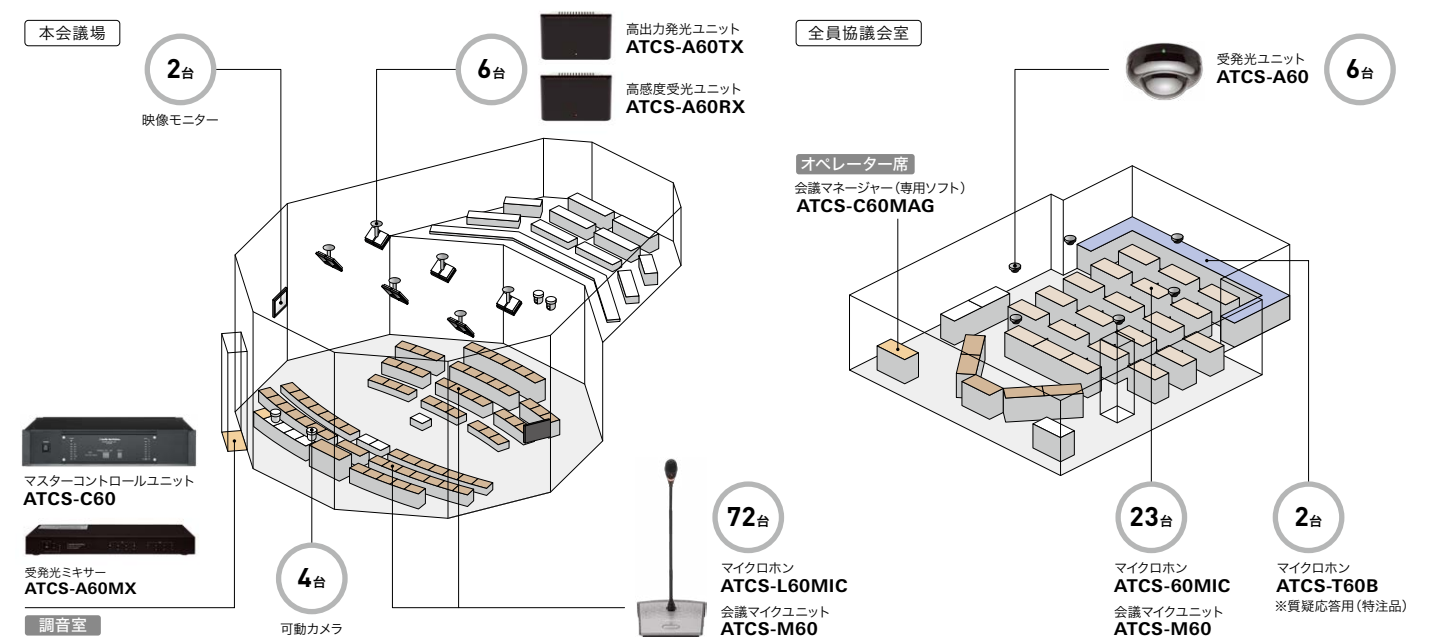
大阪府

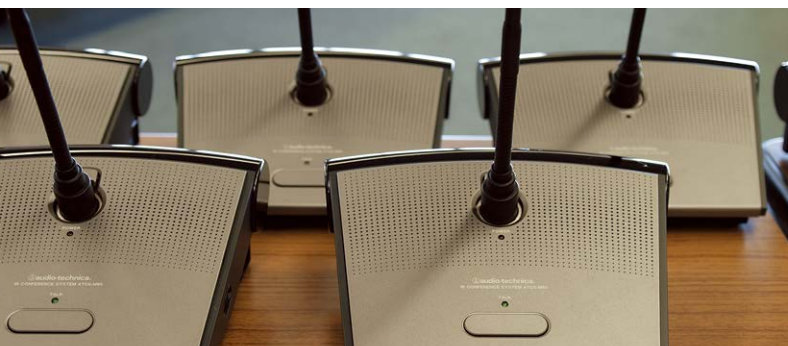
天井高のある本会議場には
大型送受光アンテナATCS-A60TX・RX・MX6セットを設置。
広い空間でも全ての席のマイクロホンをしっかりカバー。
中規模会議室では、マイクユニットをシェアしてコストダウン。



本会議場・全員協議会室

- ATCS-60シリーズ95台と赤外線ハンドヘルドマイクロホン(特注品)2台で構成しています。
- 立席発言となるため専用ロングマイクロホンを使用。スマートなデザインで圧迫感を感じさせません。
- 6mの天井高でも安定した運用が可能です。受発光ユニットの赤外線受信範囲を的確にコントロールし、全ての座席が受信範囲となっています。(傍聴席と記者席は受信範囲とならないように配慮してあります)
- 95台の赤外線マイクを自動で点検するシステムを導入。常に安定した議会運用が可能です。





全員協議会室 ATCS-M60 議場配置分も含め、計40台を委員会室とシェア

IR ANTENNA SYSTEM 赤外線会議アンテナシステム

本会議場のシステム設計及び施工を担当された、J&Kビジネスソリューション ソリューション統括部 西日本第1エンジニアリングソリューション部の佐々木部長にお話を伺いました。

オーディオテクニカ・インタビュアー (以下FAT):
今回大型送受光システム (ATCS-A60TX/RX/MX) を導入頂きましたが、ATCS-A60と比べていかがでしたか?

佐々木氏:
8m弱と非常に高い天井に赤外線送受光ユニットを設置する必要があった為、大型送受光アンテナを選択しました。ATCS-A60の場合、全てのエリアをカバーするには最低でも14台ほど必要でしたが、大型送受光アンテナだと6セットで済みました。機器については大幅なコストダウンにはなりませんでした。取付工事・配線工事・高所作業における足場費用については大幅に削減できたので、トータルで見るとコストダウンに繋がったと思います。

AT:送受光感度や音質はいかがでしたか?

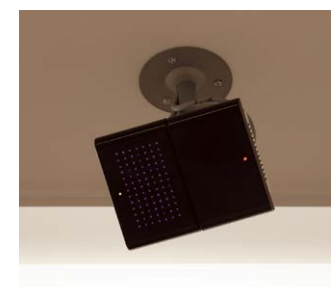
佐々木氏:
ATCS-A60と比較しても遜色ありません。送受光ユニットの照射角度の調整を行う事ができるので、微調整を行い、全ての議員・理事席をカバーすることが出来ました。

受発光ミキサー
ATCS-A60MX
発光ユニット
ATCS-A60TX 受光ユニット
ATCS-A60RX

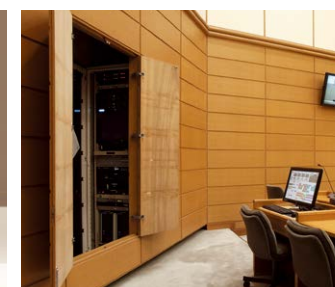
高出力発光ユニット、高感度受光ユニットと、信号の混合分配システムにより大会議室や天井の高い会議室でも使用可能。

受光ユニットと発光ユニットを連結させることにより、コンパクトなセッティングが可能。

受発光ミキサーにより受光、発光ユニットの追加施工が可能。会議室の広さに応じて、運用エリアを広げることができます。



ATCS-A60TX, ATCS-A60RX 連結時



ATCS-A60MX 議場内設置場所

吹田市議会議場では、発光ユニットATCS-A60TX (右) と、受光ユニットATCS-A60RX (左) を連結して天井に6カ所に、受発光ミキサーATCS-A60MXは場内の調音室に2台設置しています。

VOICE 利用者の声

岡本太郎氏

吹田市議会事務局議事課長代理

オーディオテクニカ・インタビュアー (以下FAT):
2009年度に全員協議会室にATCS-60シリーズを初めて導入いただきましたが、更新された当時の状況について教えてください。

有線からケーブルレスへ

岡本氏:
有線方式でオートマチック仕様でのマイクシステムを使用していたので、赤外線方式でオートマチック運用が可能なATCS-60シリーズを選びました。それまで各席へマイクケーブルの配線が大変でしたが、バッテリー運用もありケーブルレスになったため、セッティングが大変楽になりました。

AT: 赤外線会議システムの音声についてはいかがですか?

明瞭音声で委員会記録の精度も向上

岡本氏:
赤外線会議システムに更新したことにより、反訳業者からの上がってくる委員会記録の精度が飛躍的に向上し、校正作業の削減につながりました。また、以前はマイクロホンの音量を上げると、すぐにハウリングが発生してしまうため、担当者はその調整に大変苦労していましたが、導入後はハウリングのない、明瞭で聞きやすい音響システムに改善されました。

AT: 委員会室の改修においては、昨年度末に委員会室4部屋と赤外線会議システムの赤外線送受光ユニットとマスターコントローラーを導入されていますが、マイクユニットは購入されておられませんよね?

二室でマイクロホンをシェア

岡本氏:
吹田市議会では本会議場や全員協議会室



ケーブルがないので移動も楽々

に導入しているマイクユニットを委員会室とシェアしており、総マイクロホン導入台数の削減によるコストダウンが図れました。



吹田市役所
〒564-8550 大阪府吹田市泉町1-3-40

大阪府吹田市

大阪府の北部に位置する吹田市は、1970年(昭和45年)の日本万国博覧会(大阪万博)の開催地として広く知られ、大阪万博の象徴ともいえるのが芸術家・岡本太郎がデザインした「太陽の塔」です。大阪万博から40年以上経過した今でも、万博記念公園のシンボルとして、輝き続けています。また、万博記念公園からほど近い場所にある万博記念競技場は、1993年(平成5年)のサッカーJリーグ開幕当初から、ガンバ大阪のホームスタジアムとなっています。





鳥取県議会

TOTTORI PREFECTURE COUNCIL

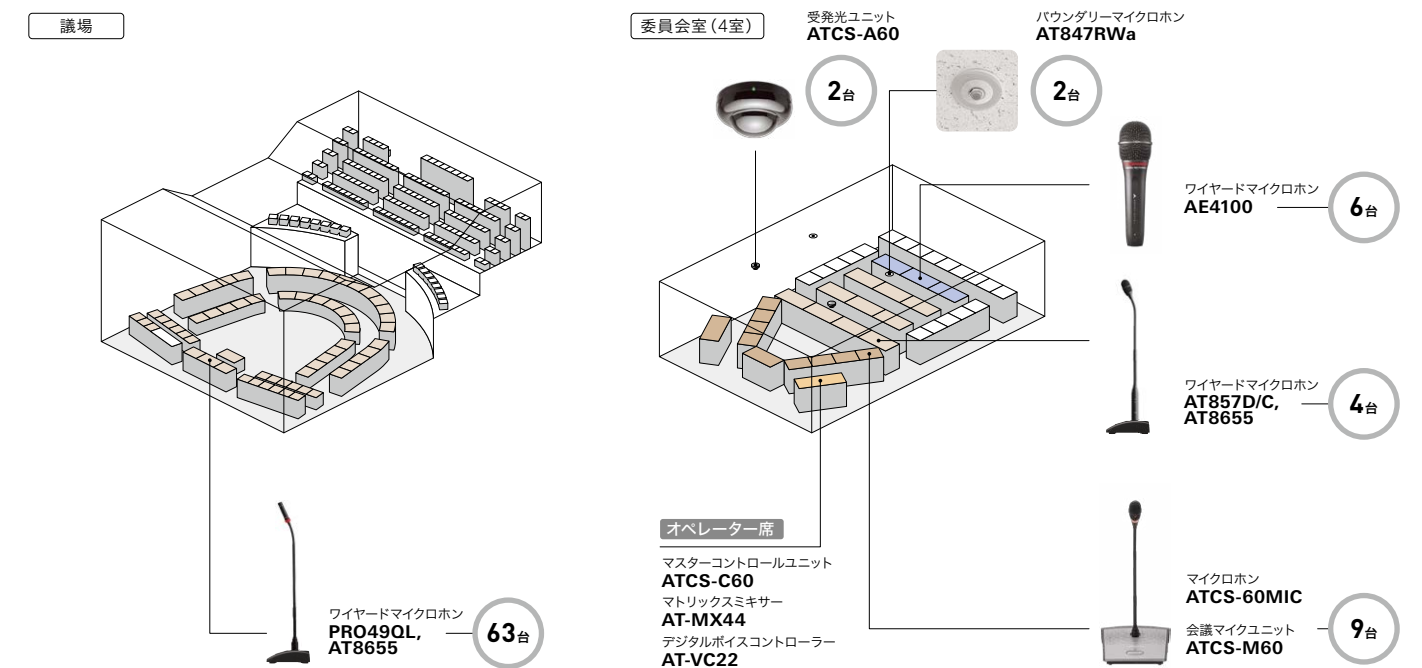
鳥取県

委員会室、全員協議会室、議場の3室でオーディオテクニカのマイクロホンを導入。音響メーカーならではの多様なラインナップから、それぞれの用途に最適な会議システムをご提案。



議場・委員会室

- ATCS-60MIC36台とワイヤードマイクロホン63台で構成しています。
- 議場中央部の議員席は、マイクロホンが折り畳める長さに対応。収納可能にしました。
- 他社製の議場システムにフレキシブルな対応で、オーディオテクニカのマイクロホンを組み合わせ導入。





PRO49QL, AT8655 (議場: マイクロホンのみ弊社製品を導入)

AT847RWa, AE4100, AT857D/C, AT8655 (委員会室 上から)

VOICE 利用者の声

田住利晃氏

鳥取県議会議務局

オーディオテクニカ・インタビュアー (以下AT):
議場・委員会室・全員協議会室を改修したきっかけを教えてください。

「開かれた議会」を目指して

田住利晃氏 (以下田住氏):
音響設備の老朽化が著しかったので、議場と全員協議会室を改修しました。また、「開かれた議会」の一環として委員会のインターネット中継が決定した為、各委員会室にカメラ・音響設備を導入することになりました。

AT:
実際に弊社赤外線会議システムを使用してみた印象はいかがですか？

ハウリングも自動調整

田住氏:
音が非常にクリアになり聞きやすくなりました。ハウリングも機械で自動的に調整し、瞬時にカットしてくれるので手間が省けました。また、デザインもよくなり、使い勝手の面でも改善されています。

AT:
弊社赤外線システムを利用するメリットは何ですか？

無線でかんたん配席

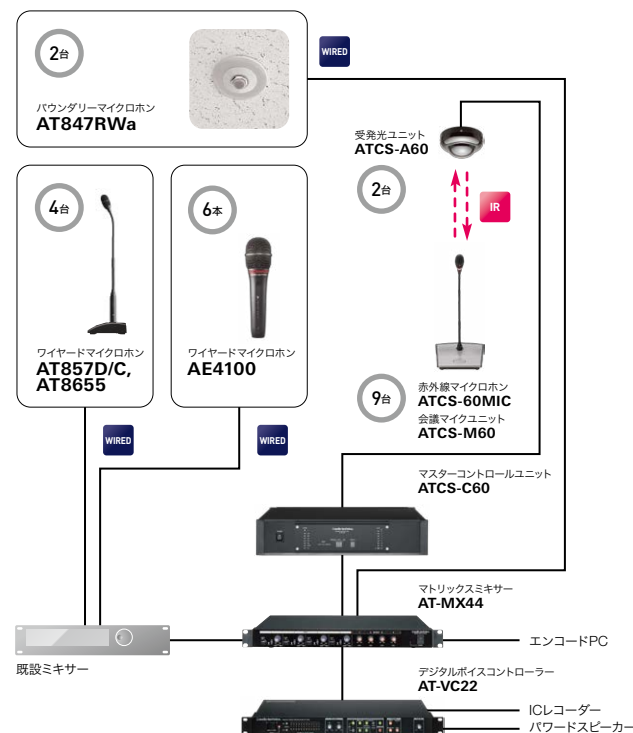
田住氏:
配線の手間が省けたことです。鳥取県の場合、常任委員会と特別委員会を同じ委員会室で開催するのですが、その都度配席を変えるので有線のマイクロホンでは設置に手間がかかります。それに比べて赤外線のマイクロホンは単に持ってくるだけで、設定変更の必要もないので非常に便利になりました。



鳥取県庁
〒680-8570 鳥取県鳥取市東町1丁目220

IR + WIRED MICROPHONES 赤外線マイクロホン+有線マイクロホン3機種

鳥取県庁委員会室各4部屋ではそれぞれ、赤外線マイクロホン9台に有線マイクロホン3機種を加え、精度の高い收音を行なっています。レイアウト変更やマイクユニットの増減にも容易に対応できます。





AT847RWa
パウンダリーマイクロホン
¥42,000. (税抜 ¥40,000.)



天井設置には、別売**AT8433**
クイックマイクアダプター ¥4,725.
(税抜 ¥4,500.) を装着



AT857D/C
ワイヤードマイクロホン
¥45,150. (税抜 ¥43,000.)



AE4100
ワイヤードマイクロホン
オープン価格



AT8655
マイクスタンド
オープン価格

鳥取県

鳥取県議会の所在する議会棟は、本庁舎、第二庁舎、警察本部庁舎とともに鳥取県庁を構成しています。47都道府県の中で一番人口の少ない県ですが、豊かな自然によって海の幸・山の幸に恵まれ、四季の移り変わりを鮮やかに体感することができる、日本を代表する県のひとつです。





嬉野市議会

URESHINO CITY COUNCIL

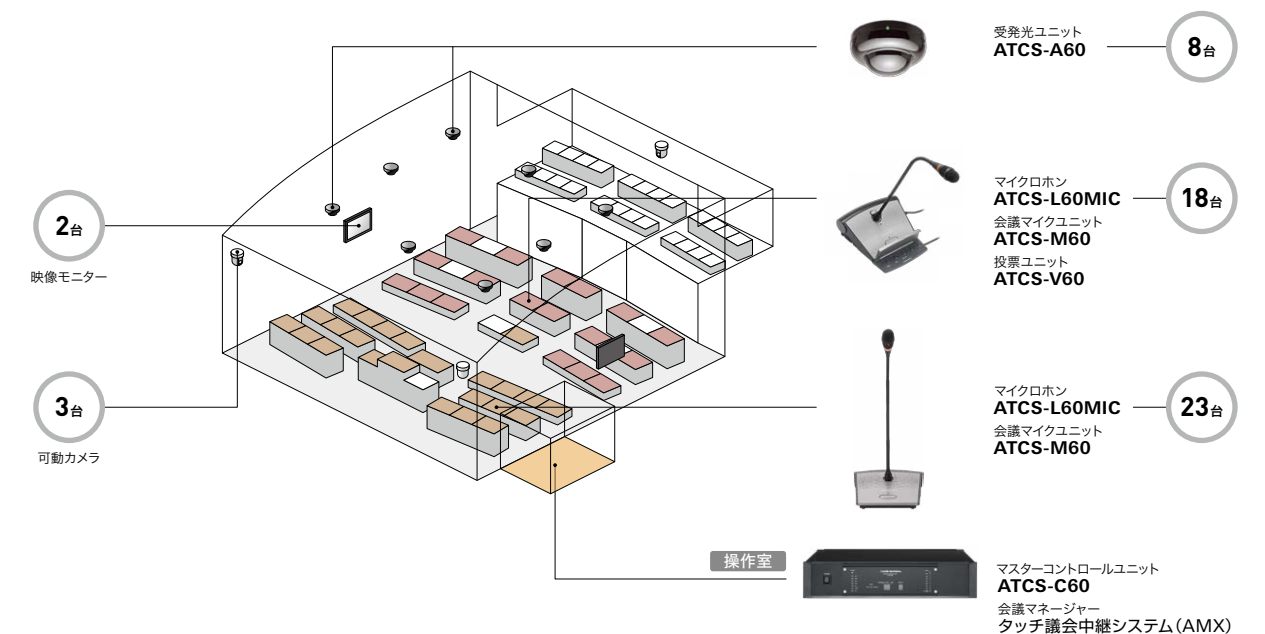
佐賀県

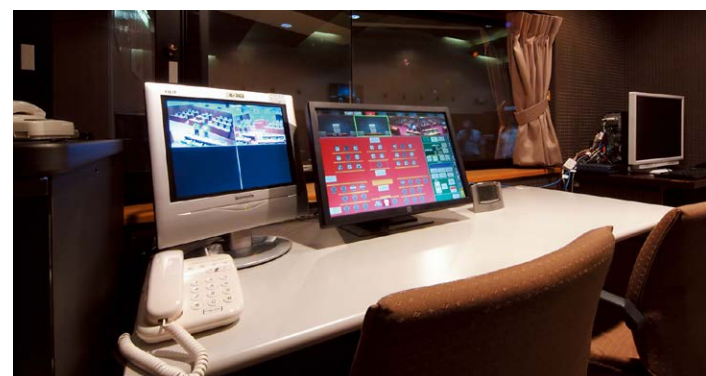
ATCS60シリーズ専用の投票システムを導入した佐賀県嬉野市議会。
 操作・制御は共信コミュニケーションズ(株)の開発したAMXコントロールソフトから。
 集票・投票結果はすぐに場内の映像モニターに表示されます。



議場

- ATCS-60シリーズマイクロホン41台で構成しています。
- 専用ロングマイクロホンATCS-L60MICを使用。
- 専用投票ユニットATCS-V60を採用。手元でかんたんに投票をすることができ、集票などの管理も可能になりました。





議長席 議員席投票ユニット 操作室 (上から)

VOICE 利用者の声



白石伸之氏

嬉野市議会事務局 次長

オーディオテクニカ・インタビュアー (以下AT):
導入されるきっかけは何でしたか。

白石伸之氏 (以下白石氏):
議場改修全体のシステムの一部として、工事請負業者から提案を受けました。

AT:
実際に導入して良かった点はどこですか？

机上に栄える すっきりデザイン

白石氏:
すっきりとしたデザインで机の上にもよくマッチしました。また、共存コミュニケーションズ

が開発した議場会議システム制御ソフトもとても使いやすいと、職員一同喜んでます。

AT:
投票ユニットについてはいかがでしょうか？

ATCS-V60の導入で 利便性アップ

白石氏:
投票ボタンを押して投票するときに小さな音で、投票動作をはっきりと確認が出来たら、もっと良かったと思います。投票ユニット自体は、今回導入して議事の進行がスムーズになったと、議員の評価も上々です。

AT:
ありがとうございました。



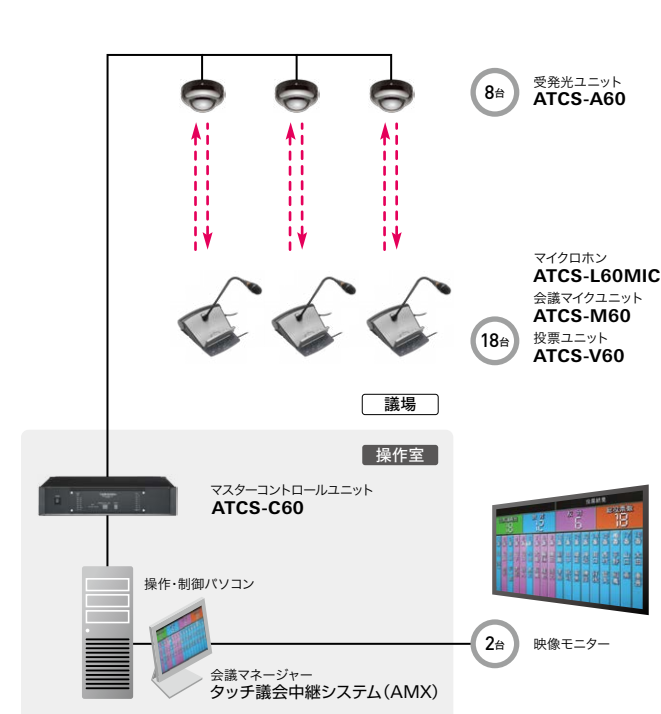
会議システムソフトでの投票受付時のPC画面(操作室)。投票時間が終了すると同時に、集計結果が表示されます。



嬉野市役所塩田庁舎
〒849-1411佐賀県嬉野市塩田町
大字馬場下甲1769番地

VOTE SYSTEM ATCS-V60による投票システム

嬉野市議会議場では、赤外線マイクユニット18台に投票ユニットATCS-V60を接続しています。会議マネージャーソフトには、共存コミュニケーションズ(株)が提供する議会向けAMXコントロールシステムを導入。投票結果は、すぐに場内の映像モニターに表示されます。



投票ユニット ATCS-V60

- 赤外線会議システムATCS60シリーズ専用の投票システムとなります。
- 投票ユニットは会議マイクユニットに接続することにより運用が可能です。
- 投票システムの操作は専用のソフトウェアが必要となります。
- 最大188台の投票が可能となります。
- 投票状態表示や集票、結果表示などの管理、保存が可能です。
- 投票方式は2ボタン方式(賛成・反対)と5ボタン方式(1~5)に対応しています。
- 会議システムの機器構成にアンテナ増設などの追加工事は必要ありません。





南城市議会

NANJO CITY COUNCIL

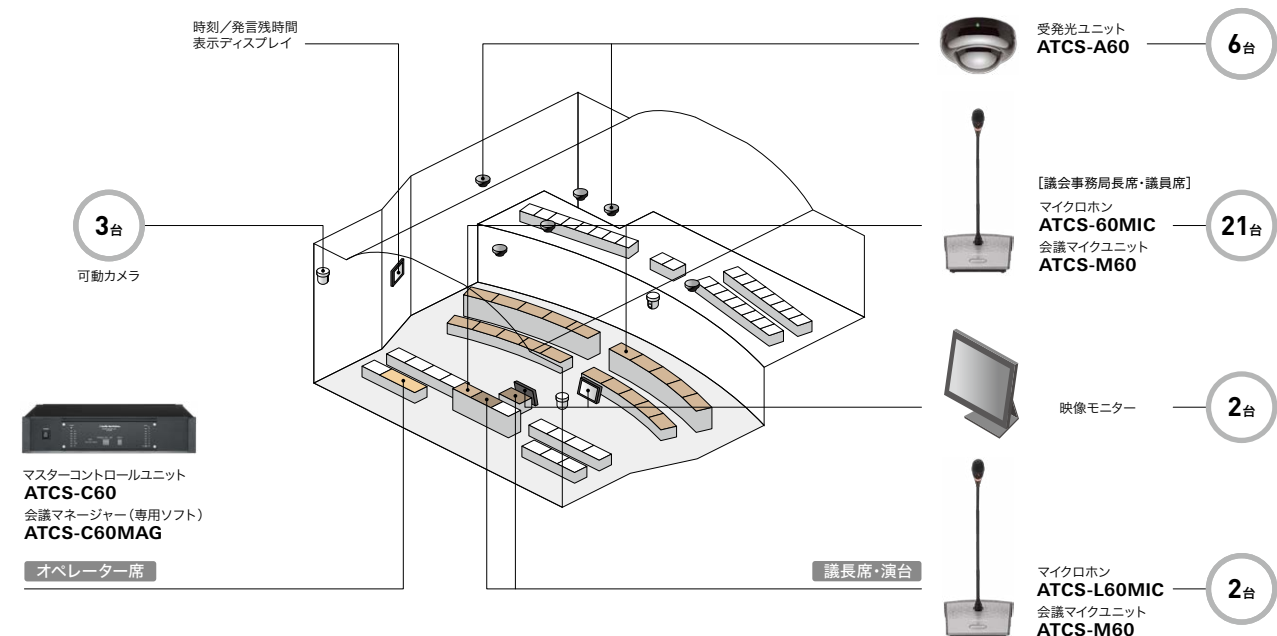
沖縄県

専用ソフトATCS-C60MAGを使用している南城市議会。
場内オペレーター席に全てのシステムを集約、
PCひとつでカメラコントロールもマイク制御も簡単操作。



本会議場

- ATCS-60シリーズマイクロホン23台で構成しています。
- 議長席・演台には専用ロングマイクロホンを使用。スマートなデザインで圧迫感を感じさせません。
- カメラコントロールシステム導入。PCひとつでかんたん操作。
- 議事堂内に映像モニターを設置。スムーズな議会進行を可能にしました。





議長席、議会事務局長席(上) 議長席と映像モニター(下)

VOICE 利用者の声

吉田哲雄氏

沖縄県南城市役所議会事務局

オーディオテクニカ・インタビュアー(以下AT):
ご購入に至った経緯を教えてください。

吉田哲雄氏(以下吉田氏):
もともと合併前の旧町村で使われていたものを使用していました。その機械が年数経って老朽化したため、改修をすることとなりました。

AT:
メリットやデメリットはありますか?

レイアウト変更、自由自在

吉田氏:
メリットは操作性の向上です。従来は音響とカメラの操作に2人の人員を要していましたが、

PCの画面一つで操作が可能となったため1人で済むようになりました。また、操作性においても簡単に使いやすくなりました。レイアウトも自由に変えられるので、移動するのが非常に楽になったと感じます。デメリットは強いて言うなら一人分の仕事の範囲が増えたことくらいでしょうか。(笑)

AT:
音質はいかがですか?

吉田氏:
新規導入時にシステム全体を改修し、調整してもらったため、それ以降ハウリングは起きなくなり、音質も良くなりました。

AT:
映像モニターの導入について評判はいかがでしょう?

映像モニター導入で利便性アップ

吉田氏:
議会中に誰がどのように話しているかわかるようになり、便利になったと思います。

AT:
今後どのような計画がございでしょうか?

ネット配信でより「開かれた議会」へ

吉田氏: 一般市民の方々にも簡単にご覧頂けるようインターネット配信を検討しております。*

* ご導入される際は、既設のシステムにも簡単に同期することが可能です。



南城市役所本庁舎
〒901-0695 沖縄県南城市玉城
字富里143番地

ATCS-C60MAG 会議マネージャー専用ソフト



南城市議会 オペレーター席

南城市議会議事堂では、3台の可動式カメラと2台の映像モニターが設置されています。オペレーター席のPCに専用ソフトATCS-C60MAGを導入することで、すべてのシステム管理を一ヶ所に集約。マイクロホンのON/OFFからカメラ操作、映像モニターの切り換えまで、ひとりで担当することができます。

MONITOR IN HALL 議事堂内の映像モニター設置

カメラ連動と映像モニター



PC上で発言者を選択すると、議事堂内に設置された可動カメラが自動的に発言者を映します。南城市議会では議事堂の中にローディスプレイスタンドを設置、モニターでその映像を流しています。議会中に議員席から映像を確認することができるため、スムーズな議会進行につながっております。

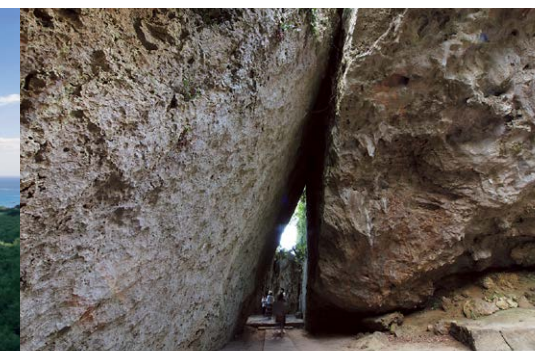
2画面表示と画面切り換え



映像モニターでは、議会中の様子だけでなく「休憩中」や「議会運営の注意事項」などの画像から、現在時刻や発言残時間といった映像まで、さまざまな情報を見せることが可能です。また、ディスプレイは2画面表示にも切り換えられるので、議会の進行をささぎることなく情報を確認することができます。

沖縄県南城市

2006年、琉球の創世にまつわる伝統的な祈りの文化を持つ4つのまち(佐敷町、知念村、玉城村、大里村)が合併し、「ハートの形」の南城市が生まれました。「琉球王国のグスク及び関連遺産群」のひとつとして世界遺産に登録されている斎場御嶽(せいふあうたき)は、琉球開びやく伝説にもあらわれる琉球王国最高の聖地で、現在ではたくさんの参拝客が訪れます。



ATCS-60MIC

専用マイクロホン
オープン価格



ATCS-M60接続時

ATCS-L60MIC

専用ロングマイクロホン
オープン価格



ATCS-M60接続時

ATCS-M60a

会議マイクユニット
オープン価格



LI-240a

リチウムイオン電池
¥12,000. (税抜)



AD-SC1210AE

ACアダプター
¥3,000. (税抜)



AT-MX44

マトリックスミキサー
¥175,000. (税抜)



AT-MX862

デジタルマトリックスミキサー
オープン価格



AT-VC220

デジタルボイスコントローラー
¥150,000. (税抜)



ATCS-A60

受発光ユニット
オープン価格



ATCS-D60

分配器
オープン価格



AT8647CS60

受発光ユニット取付アダプター
オープン価格



ATCS-C60a

マスターコントロールユニット
オープン価格



ATCS-V60

投票ユニット
オープン価格



ATCS-M60接続時

ATDM-0604

デジタルスマートミキサー
オープン価格



ATCS-C60MAG

会議マネージャー(専用ソフト)
オープン価格



ATCS-B60

専用充電器
オープン価格



赤外線会議アンテナシステム

ATCS-A60MX

受発光ミキサー
オープン価格



ATCS-A60TX

発光ユニット
オープン価格



ATCS-A60RX

受光ユニット
オープン価格



ATIR-T880 (ATUC-IR/ATCS仕様)

赤外線会議システムプレゼンター用マイクロホン
オープン価格



ATIR-T850 (ATUC-IR/ATCS仕様)

赤外線会議システムプレゼンター用マイクロホン
オープン価格



BC702

マイクロホン・充電スタンド
¥20,000. (税抜)





株式会社オーディオテクニカ プロオーディオ営業部 プロフェッショナルSS課

[東京] 〒113-8525 東京都文京区湯島1-8-3 テクニカハウス Tel.03(6801)2010 Fax.03(6801)2019
[名古屋] 〒461-0004 愛知県名古屋市東区葵3-22-8 ニューザックビル7F Tel.052(979)4705 Fax.052(979)4733
[大阪] 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2-1-3 SORA新大阪21 13F Tel.06(6399)2877 Fax.06(6395)5475
[福岡] 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-12-1 アバダント95ビル3F Tel.092(412)6950 Fax.092(461)2360

□製品の規格・仕様は改善等のため予告なく変更することがあります。□製品の色は印刷により、実際の色とは違って見える場合があります。□製品の価格には工事費、設置調整費等は含まれておりません。□このカタログの記載内容は2019年8月現在のものです。

<http://www.audio-technica.co.jp/proaudio>



安全に関するご注意

●ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくご利用ください。
●水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

次の場合には、運用時にノイズや音切れなどが発生する可能性があります。詳しくはお問合せ下さい。

- 同じ部屋内にて赤外線方式の同時通訳システムやリスニングシステムなど、赤外線を使用した各種機器をお使いの場合
- プラズマディスプレイパネルや赤外線を放射する照明(白熱球、ハロゲンランプ)をお使いの場合
- 太陽光が、受発光ユニット及び会議ユニットに直接当たる場合